

第5回 まちなかのにぎわい創出円卓会議 資料

テーマ：まちなかのにぎわい創出のための公共施設の活用について

まちなかのにぎわい創出に向けた取組（これまでの振り返り）

魅力ある小路エリア

おしゃれで居心地の良い、歩いて回遊する環境づくり

《主な取組例》

- ・空き家の有効活用による出店の促進
- ・景観を活かしたスタンプラリーや植栽イベント
- ・小路の魅力100選フォトコンテスト



空間としての「場」の魅力向上

《主な取組例》

- ・図書館等複合施設の建設
- ・体育文化会館の建設
- ・歴史民俗産業資料館リニューアル
- ・中央公民館ロビーリニューアル
- ・八幡公園リニューアル



八幡公園



中央公民館ロビー

空き家活用拠点エリア

コンテンツの発掘、拡充と、様々なプレーヤーが多彩なコンテンツを創出するための民間活力の導入促進

《主な取組例》

- ・外部パートナーとのコラボレーションによる拠点施設（本、カフェ、ビール等）の運営
- ・空き家等を活用したゲストハウス、新店舗
- ・まちなかの空き家への若者の移住及び定住を促進（イベントによる移住転職、市内学生の居住）



道路空間の多様な活用

歩いて回遊する環境づくりエリア

《主な取組例》

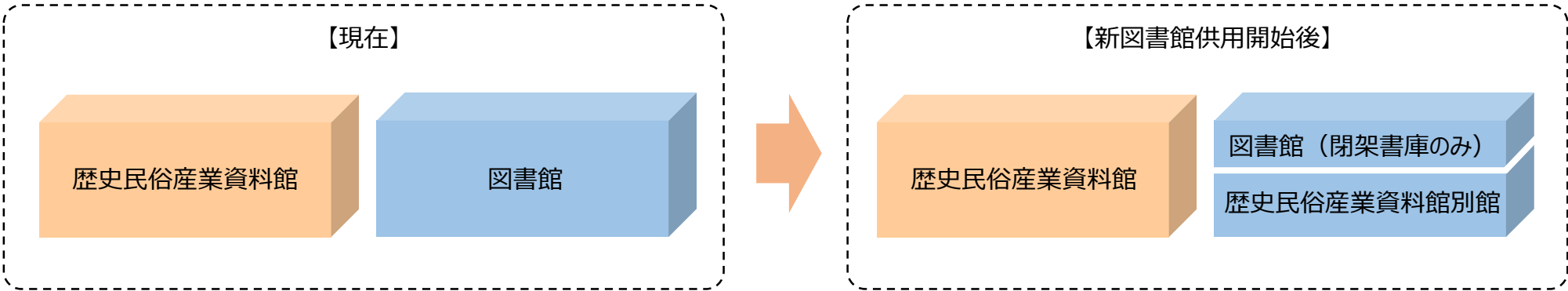
- ・車両流入規制（時間指定含む）
- ・車両速度抑制対策
- ・路面美装化
- ・小路の魅力向上（再掲）



新図書館内イメージ

新図書館供用開始後の歴史民俗産業資料館及び現図書館の活用について

令和4年度に予定している新図書館供用開始後における歴史民俗産業資料館については、「**三条の先人たちが築いたものを伝承していく三条市の歴史、文化に親しみ、郷土愛を醸成する、三条市のアーカイブを担う基幹施設**」として充実を図ることとしたい。
これと併せて、現図書館についても歴史民俗産業資料館別館として、名誉市民顕彰の場などとして活用していきたい。



■スケジュール

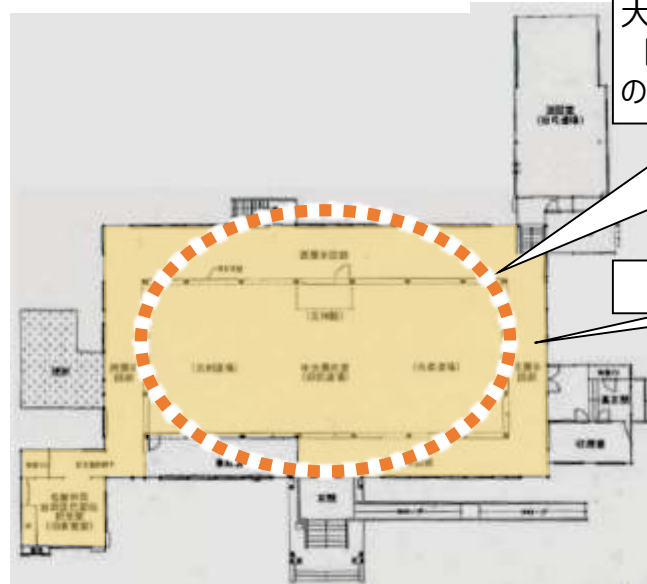
施設		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度以降
歴史民俗産業資料館		歴史民俗産業資料館		改修工事	歴史民俗産業資料館
現図書館	1・2階	現図書館（開架スペース、学習室ほか）		改修工事	歴史民俗産業資料館別館
	3階	現図書館（閉架書庫）			
新図書館		建設工事		引っ越し	新図書館

新図書館供用開始後の歴史民俗産業資料館及び現図書館の活用イメージ

歴史民俗産業資料館及び別館の施設の活用の考え方

- ・展示内容を見直し、伝統行事やまちの由来に加え、「ものづくり」の視点及び八十里越など三条の独自性があるものを取り入れる、より「**三条らしさ**」にこだわったものとする。
- ・三条市の誇りである**名誉市民の顕彰の場**とするとともに、三条市にゆかりのある人物を紹介し、これに関する常設展示及び企画展示も行う。
- ・三条市関連芸術家などによる展示など、**美術館的機能**を持たせる（文化芸術展示ギャラリー）。
- ・歴史、文化に“自ら触れる”とともに、“作る”こともできる**ワークショップの場**を設ける。

■歴史民俗産業資料館



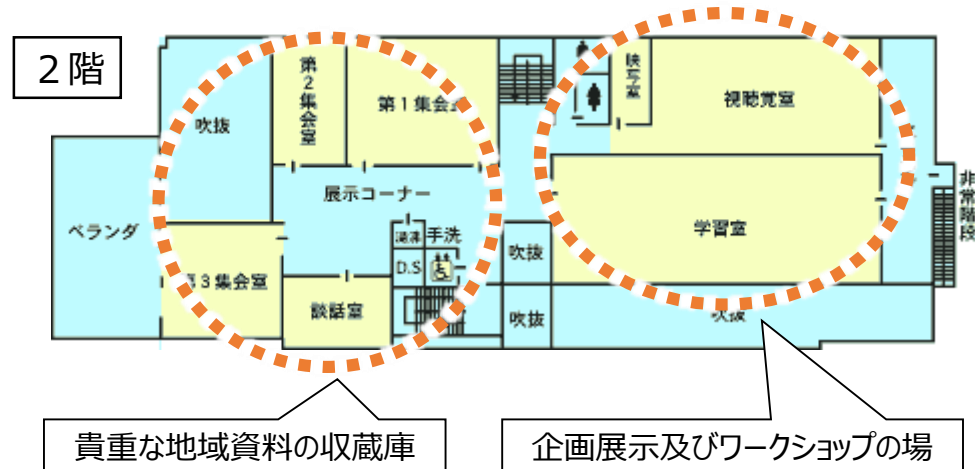
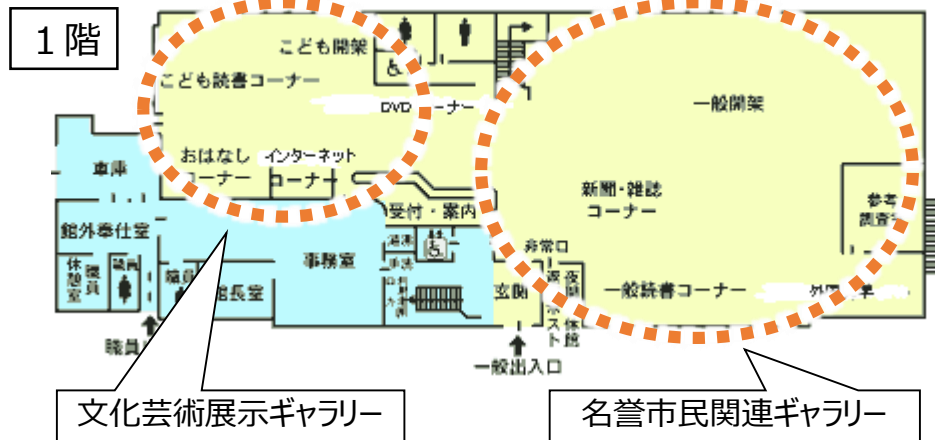
大名行列、凧合戦、本寺小路、鬼おどりなど、「三条のまち」の歴史や由来が分かり、三条のアイデンティティの再認識につなげる展示

喫茶コーナーも設置



■歴史民俗産業資料館別館(現図書館)

注) 図面は現図書館のものであり、「一般開架」などと標記してある諸室機能は現図書館のもの



【参考】新図書館と周辺施設・関連施設の連携

新図書館 学ぶ、見る、触れるものづくりのまちの図書館

- ・多様なニーズに対応した垣根のない使い方
- ・「場」の魅力によりにぎわい創出につなげる



まちなか交流広場(+複合施設全体)

- ・パーク&ウォークの拠点として、まちなかの情報発信や施設間で連携した回遊イベント（鍛冶、科学、文化及びスポーツなど、各種テーマを設定）を実施
- ・魅力的な飲食や洗練された居心地の良さにより気軽に立ち寄ることができ、知らず知らずのうちに交流と学びの世界へ誘導

連携
にぎわい創出の担い手
(直営及び指定管理者)

体育文化会館



連携

八幡公園



連携

図書貸出閲覧等

- 開放的で自由な 学び、知識、くつろぎの空間
- ・司書は専門分野ごとの担当制（関連施設と連携、効果的な選書や資料収集）
- ・デジタル技術の活用によるサービスの向上（資料の見える化、電子書籍）

鍛冶ミュージアム

- 鍛冶職人の「よりどころ」となり、過去から受け継がれた「今」を展示し、未来へつなげる
- ・鍛冶職人につながる常設展、企画展

中央公民館



学校教育や生涯学習に関する取組をそれぞれの会場で実施
(例：科学教育フェスティバルなど)

科学教育センター

- 「ものづくり」のDNAを受け継ぐ児童生徒の科学的思考力と創造力の育成
- ・ダイナミックな理科実験
- ・三条市独自の理科授業カリキュラム

鍛冶道場



鍛冶ミュージアムで鍛冶職人に触れ、鍛冶道場で鍛冶を体験

歴史民俗産業資料館及び別館

- ・「三条らしさ」にこだわった展示
- ・三条市の名誉市民の顕彰の場
- ・美術館的機能
- ・歴史、文化等に関するワークショップの場



三条市の貴重な地域資料の収集整理及び情報発信

名誉市民等に関するイベント及び情報発信などの共有、連携

諸橋轍次記念館



指定管理の範囲

- R3～
- ・現図書館
- ・歴史民俗産業資料館（学芸員担当部分を除く）
- ・諸橋轍次記念館
- R4～
- ・新図書館（科学教育センター及び学芸員担当部分を除く）
- ・諸橋轍次記念館
- ・まちなかのにぎわい創出に資する取組の実施
- R5～
- ・上記に加えて、歴史民俗産業資料館及び別館（学芸員担当部分を除く）

指定管理者に指示

学芸員

- (生涯学習課)
- ・鍛冶ミュージアム及び、歴史民俗産業資料館の展示等に関する企画立案
- ・地域資料の情報収集、蓄積に向けた方針策定

【参考】新図書館と周辺施設活用のイメージ

これまでの図書館利用者



これまでの図書館利用者にとっても、新たな利用者にとっても、新鮮で幅広い体験を提供

これまでの図書館だったら訪れることのなかった人

- ・居心地の良い空間を求めて訪れる人
- ・魅力的な食事を求めて訪れる人
- ・散歩、ウォーキングの休憩のために訪れる人
- ・近くの用事のために図書館の駐車場を借用する人
- ・三条市立大学などの学生
- ・イベントに来る人
- ・科学教育センターに来る児童、生徒、教師

図書館に来たら意識しなくても体験できること

図書館自体の機能向上

魅力的な選書と良質なレファレンスサービスの提供
ICT化によるストレスフリーな貸出返却手続き

場の魅力

隈研吾氏による設計の洗練された空間による居心地の良さ
魅力的な食事
施設の様々な使い方（例：ホールでビアガーデン）

興味・学び

鍛冶ミュージアムで鍛冶職人の魅力に触れる
ダイナミックな科学実験
各分野のイベント等による他分野への興味
〔例：体育文化会館と連携したダンスイベント
高付加価値の三条製品の展示会と販売コーナー
広場で科学に関連する施設（日時計など）の配置〕

新たな興味により回遊を促すことで
にぎわいを可視化

鍛冶道場

で鍛冶を体験する

歴史民俗産業資料館

で三条のものづくりを知る、体験する

歴史民俗産業資料館

で文化芸術に触れる、体験する

中央公民館

で生涯学習活動に参加する

体育文化会館

で運動する、文化活動に触れる

子育て世代ファミリーのアクティブ休日ライフ

車を図書館に
停め、学習
ホールへ

学習ホールで
親子科学教室
に参加

まちなか交流
広場（屋外広
場）オープン
テラスで昼食

鍛冶ミュージ
アムで鍛冶に
興味を惹かれ、
鍛冶道場へ

鍛冶道場で
ペーパーナイ
フ製作体験

小路沿いのカ
フェでお茶タ
イム

小路のショッ
プで買い物
して帰宅

新しい図書
館や広場が
できて休日
の楽しみが
増えた

若者（学生）のまちなかでの休日ウォーカブルライフ

須頃から弥彦
線で図書館へ
向かう

図書館で学校
に提出するレ
ポートを作成

仲間たちと、
小路のおしゃ
れなカフェで
昼食

八幡公園での
大フリーマー
ケットで楽し
む

歩いて体育文
化会館へ行き、
バスケットの
試合を観戦

小路にある新
たなショップ
等の散策

まちなか交流
広場（屋内広
場）で軽く一
杯飲んで帰宅

エリアの拠
点や个性的
なショップ
など、まち
が魅力的に

郊外に住まうアクティブシニアの文化芸術ライフ

車を図書館に
停め、まちな
か交流広場へ

まちなか交流
広場でエリア
のイベント情
報をチェック

歴史民俗産業
資料館で「三
条出身の偉人
展」を鑑賞

小路沿いを散
策し、沿線の
飲食店で昼食

中央公民館で
生け花展や野
点を楽しむ

図書館に戻り
ゆっくりと過
ごす

まちなか交流
広場（屋内広
場）で食事を
取り、帰宅

文化芸術の
エリアとし
て、楽しみ
の幅が広が
った